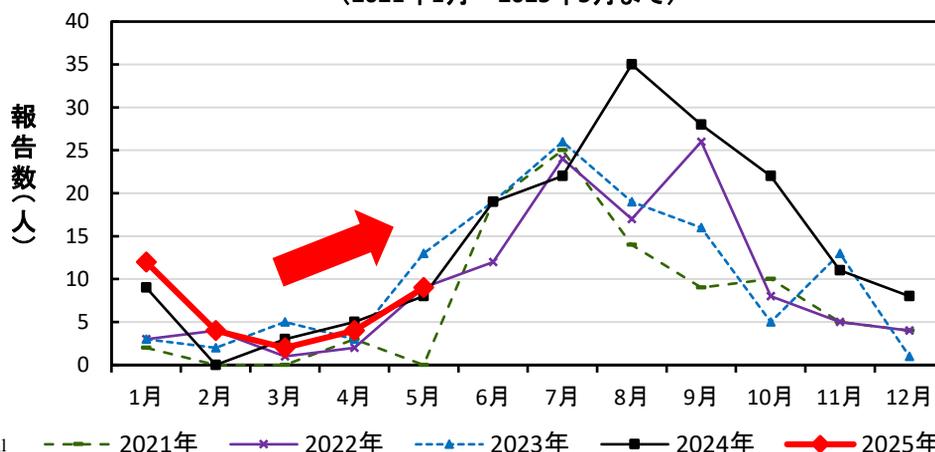


腸管出血性大腸菌感染症 に注意しましょう！

◆ 群馬県の流行状況

2025年は5月までに31件の報告がありました。（昨年同時期：25件）
例年、気温が高くなる初夏から秋にかけて多く報告されています。

腸管出血性大腸菌感染症 月別報告数
(2021年1月～2025年5月まで)



群馬県HP「腸管出血性大腸菌感染症」
<https://www.pref.gunma.jp/page/3310.html>

◆ どんな病気？

食品や手についた腸管出血性大腸菌（O157など）が体に入ることによって感染します。

- 主な症状：下痢、腹痛、血便、発熱
- 潜伏期間：多くは3～5日
- 特徴：高齢者や乳幼児で重症化しやすい
少ない菌量でも感染する
無症状でも便中に菌を排出し、周りに感染を広げるおそれがある



◆ 予防するには？

- 石けんと流水による手洗いを徹底する。
- 生野菜はよく洗って食べる。
- まな板・包丁・トングなどは、生肉用と生肉以外用とで使い分ける。
- 肉の生食は避け、中心部まで十分に火を通し、中心部の色が変わるまで加熱する。
- 調理器具の洗浄と消毒をしっかりと行う。



◆ 感染を広げないために

- 下痢や腹痛などの症状がある人は、速やかに医療機関を受診する。
- 症状のある人は家族と一緒に入浴せず、最後に入る。
- 症状のある人の下着は、塩素系漂白剤でつけ置き消毒し、家族のものとは分けて洗濯する。
- トイレやおむつ交換のあとは必ず手を洗う。

